

# まちづくり会議 くくりシートとりまとめ

## 【テーマ】保健・福祉・子育て支援グループ

くくり名	現状の課題	取組アイデア	特筆する意見
高齢者の施設が足りない	高齢者の施設をもう少し増やしてほしい。デイサービスや老人ホームなど。		
障害がある人の集まる場所のPRが足りない	障害者が集まる会があるが、高齢化により会員数が少なくなっている。転入の際などに、そういった会があることをPRできれば。		
	個人情報の問題もあり、障害者手帳を持つ方に対してアプローチできない		
高齢者、独居の方への支援体制	高齢者引きこもりや独居老人の防止策が必要	町内会の役割を見直すなど、地域コミュニティの再編が必要	
	災害時の声掛けが不十分な状態	世話焼きできる方をつくる	
子育て世代へのサービスが足りない	子どもの集まる場所がない(公園とか)	移住者と町民が交流できる場をつくる	
	転入者が入りやすい母親同士の交流の場がない。すでに関係が出来上がっているため、なかなかそこに入れない。		
	子どもの広場、大きな公園		
	児童のための複合施設の整備。		これができるれば、対外的にかなりのPRになる。
	子育て支援政策について、他の市町村に負けない点をPRできているのか		
池田町の魅力	子育て世代の方の池田町移住のメリットが見えない。		メリットがある町になれば、池田町で安心して子育てができる。
	働く場所がないのが大きな原因		

### 以下、付箋やくくりシートには記述していないものの、特筆する意見

町で1つでも大きな公園があれば良い。家族連れは車で来られるので、距離は関係ない。

高齢者向けのサービスは充実していると感じる。その反面、子育て支援が足りないかと。子育て支援策を進めてきたと言っているが、なかなか伝わってきていないのは、PR不足ということなのか。

マックスバリュの2階を子育て支援施設として有効活用できないか。冬の遊び場、高齢者とともに見守れるシステムができれば。

マックスバリュの2階の施設整備を町でできるのか。マックスバリュ側も買い物客が増えることにもなるため、双方にメリットがあると考えられる。

農村部では、跡取りや子どもがいない高齢世帯は帯広市や幕別町に行ってしまう。これは、バスなどの交通環境が良くないから。池田のまちなかでも不便だと感じているということ。

子どもの数も少ないので、バスの助成(100円事故負担)は無償化にしても良いのでは。

若い人で古民家を探している人もいるため、そこへのアプローチも必要。

元気な高齢者が多いので、子ども達との接点があれば、高齢化率の高い池田町で生きるのは。

高齢者の集まりも何か活動するにもボランティアのおかげ。そのボランティアが少なくなっているの、どうにかしないとイケない。

以前実施していた「こどもまつり」はとても良いイベントだった。家族向けのイベントが町で1つでもあればいいのだが、ワイン祭りしかない。何でもいいので年1回のイベントがあれば、固定客も来ると思う。

実際に池田町に移住してきた人の意見を聞く場がない。商工会や農協の女性部でもそういった機会があると良い。移住者との接点もない。

## まちづくり会議 くくりシートとりまとめ

### 【テーマ】産業振興グループ

くくり名	現状の課題	取組アイデア	特筆する意見
経営者の担い手不足	若手経営者が少ない	近郊住宅街(ベッドタウン)を目指して住居人口を増やす	
	後継者の不足	消費者(顧客)が増えることで経営者にやる気(市場)を見出してもらう	
	商業者も高齢化	新規事業参入に支援(文房具店、書店など)	
	空き店舗に生活者がいることで賃貸及び売却ができず新規参入ができない。	空き店舗に生活している人を別な場所に住んでもらうことで商業地域(大通商店街)を確立して新規参入を促す。	
	町の融資枠をもう一声	既存の事業者、農業者が人を雇える規模になる様にする。(公共事業で役場が継続的な仕事を作る)	
繋がりのある商店街	大通商店街に魅力がない(空き店舗・空き地利用が難しい)	地域おこし協力隊がよそ者の視点で池田町を魅力を見つけてもらう	
	ワインの町として町外からは良く見えているらしいが、町内事業者は他町より厳しい	点として人が来る店はあるので、繋がる仕組みを考える	
	人とのネットワークが少ない	道の駅・マルシェを作る	
	町内にお金が回っていない(町の投資が少ない、お金が回る環境になっていない)	域内消費の活性化	
		在庫ロスをなくす町内消費を促す仕組み	
		中心市街地に人が集まるイベントを月1実施	
		衣食住が重要でそのうち食を中心に盛り上げる	
宿泊場所が無い	観光で訪れても宿泊する施設が無い		
農林業に特化した課(役場)がない	管内で農林課が無いのは池田町だけ！農林と産業(商業)を別な課にすべき		
十勝ワインの民営化	ワイン事業はそろそろ民営化の時では。ブドウの生産や販売は民間のノウハウで実施すべき。研究開発も必要ない。酒造免許のみの活用で良いのでは		
	せっかく品種開発した山幸・清舞を町外に売っている。もっと池田町内での生産に力をいれるべき		

## まちづくり会議 くくりシートとりまとめ

### 【テーマ】生活基盤整備グループ

くくり名	現状の課題	取組アイデア	特筆する意見
住宅・店舗環境	空き家・商店が増え不便さがある。	集約化(コンパクトシティ)の検討等	
	空き家が目立ち防犯面で不安がある	地域の見守りや移住者のあっせん	
	転居者にとって閉鎖的な社会に感じる場合がある。	移住の際の地域特性までを確認してからの移住あっせん	
生活環境	ゴミの分別が難しい	転入者も含めての方法の周知の徹底	
	分別が難しい高齢者対策	地域の協力や介護者への周知	
	未回収ごみの地域住民周知のプライバシーの問題。	適切な分別の周知	
	ペットの飼育方法～登録義務のある動物の未登録・放し飼い	動物愛護条例等の周知・飼育者側の意識改革	

## まちづくり会議 くくりシートとりまとめ

### 【テーマ】教育振興・協働のまちづくりグループ

くくり名	現状の課題	取組アイデア	特筆する意見
人口減少子化策	人口減少、自然減少の対応が積極的でない	居住整備を積極的に行う	
		医療費の無料化、子育て支援の充実	
	農業の労働力不足	居住整備、支援	
		新規就農支援	
		農業研修制度の充実	
子ども達の成長をうながす対策	地元の企業に就職する子が少ない	中学生までに地元を意識できる具体的な動機付けが必要	
	池校でワインの町だが醸造を学ぶ機会がない	町内に専門家がいるので講師の池校への派遣	
	色々な年代、小、中、高校生が集えて、勉強する場所がない	一緒に勉強できるし、教えあうこともできる。学力向上などに相乗効果が期待できる	大通の空き店舗の活用
雇用の場の確保	高校卒業時、地元を離れてしまう	地域の産業の周知	
	若者が住める環境づくり	喫茶店みたいな若者が集える場所の確保	
障がい者(高齢者)対策	行く交通手段がない、行っても動けない、伴走者が必要など制約があり、活動が難しい	せめて施設のバリアフリー化	
	高齢化の進行により活動範囲の狭まり	施設等のバリアフリー化の推進	
移住定住支援策	体験住宅が何処に設置されているのかもわからない	体験住宅の体験者の感想や本町の魅力を発信し本町に興味を持っていただく	
スポーツを取り入れたまちづくり	スポーツを取り入れたまちづくりの視点がない	スポーツを通して健全な体力と健全な心の育成	
	体力の低下	地域と子供たちへのスポーツを通じた支援	
	スポーツ団体の少人数化	小、中、高と同じスポーツであれば交流や一緒に練習の実施	